

令和4年度（2022年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

憲 法

A日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和4年度（2022年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

| | | |
|------|---|---|
| 試験科目 | 憲 | 法 |
|------|---|---|

以下の問題について解答しなさい。

問題1（20点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

Aは、5年前、自宅近くの公園で小学1年生の女児にいたずらをしたという嫌疑で逮捕され、強制わいせつの罪で起訴された。このことは当時、地方ニュースに実名入りで報道された。裁判においてAは、女児の体を触ったことは認めつつも、それは女児が水たまりに転んでびしょびしょになって泣いていたため、助け起こして持っていたタオルで拭いてあげただけであり、スカートをめくったのも、下着まで泥水が沁みていないか、また怪我はないかを確認するためであり、わいせつ行為を行う意図はなかった、仮にわいせつをすとしてもこのような自宅近くでは絶対にしない、と主張したが、執行猶予付きの有罪判決を受けた。

Aはその後、フリーターをしながら、特に問題を起こすこともなく生活していたが、そろそろ安定した職に就きたいと思い、都会に転居して就職活動を始めたところ、良い感触を得ていた会社の最終面接で、突然この前科について言及され、採用できないと告げられた。他の会社でも前科を理由に断られることが続き、Aは、自分は決してわいせつ行為などはしていないと主張しているにもかかわらず、逮捕歴がインターネット上に残っていることで就職ができないことは理不尽だと思い、忘れられる権利に基づき、検索事業者に対し、逮捕歴を報じるニュースのURLを検索結果から削除することを求めて、仮処分命令の申立をした。

[問い] 上記事例において、検索結果の削除は認められるか。関連する判例を踏まえつつ、論じなさい。

問題2（5点）

地方自治の本旨とは何か、説明しなさい。